

令和5年1月23日

報道関係 各位

日本工営株式会社
株式会社日健総本社
東京農業大学

日本工営株式会社・株式会社日健総本社および東京農業大学
BSC工法研究現場説明会のご案内

開催日：令和5年2月3日(金) 15:00～ 場所：東京農業大学 厚木キャンパス

この度、東京農業大学厚木キャンパス内にて、包括連携協定を締結している日本工営株式会社・株式会社日健総本社および東京農業大学によるBSC工法の試験法面を公開するとともに、BSC工法の最新情報や研究内容の紹介を行う説明会を開催いたします。(詳細は別紙1をご参照ください)

ご取材いただける場合は、お手数ですが別紙2により、**1月31日(火) 17時**までにFAXまたはメールにて、東京農業大学 企画広報室(FAX:03-5477-2804 / E-mail: info@nodai.ac.jp)へお申し込みください。

取材に関するお申し込み・お問い合わせ

ご取材いただける場合は、お手数ですが別紙2により、FAXまたはメールにて企画広報室へお申し込みください。

東京農業大学 企画広報室 (〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1)

Tel: 03-5477-2650 / Fax: 03-5477-2804

E-mail: info@nodai.ac.jp

お申し込み期限：2023年1月31日(火) 17時

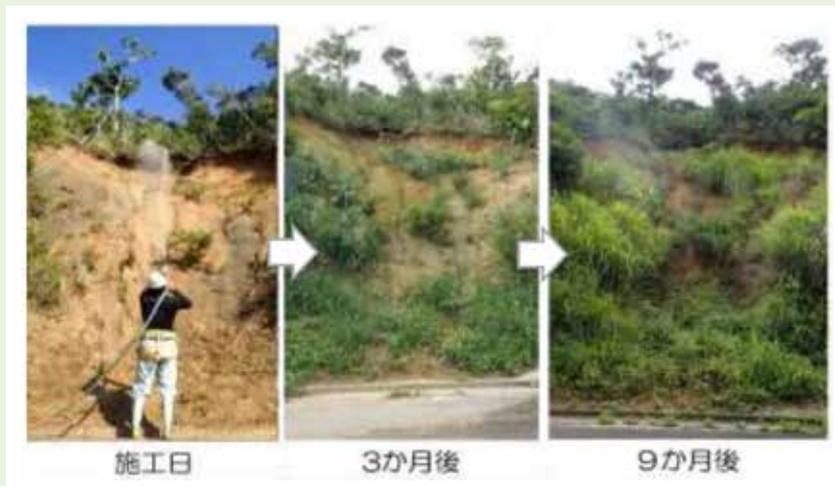
環境・景観・安全性に配慮し経済性に優れた法面工法 BSC 工法を基礎とした新技術開発

2022年2月24日に日本工営株式会社・株式会社日健総本社および東京農業大学は包括連携協定を締結しました。包括的な連携のもと、株式会社日健総本社が開発生産する糸状藻類を活用し、日本工営株式会社が開発した法面緑化による土壌流出防止および土壌飛散を防止するBSC (Biological Soil Crust) 工法を基に、東京農業大学の総合農学における知見との融合により、地球温暖化に伴う様々な災害・環境問題に関する基礎研究や応用技術を用いた新技術開発、新規機能性素材の開発、さらに農林水産物を軸とした開発技術等を用いた地域活性化における協力を推進し、発展させることを目的に取り組んでまいりました。

BSC (Biological Soil Crust) とは

BSC 工法は、土壌藻類を活用した表面浸食防止工法であり、土壌藻類資材 (BSC-1) を散布してバイオロジカル・ソイル・クラスト (糸状菌類、土壌藻類、地衣類および苔などが地表面の土粒子や土塊を絡めて形成するシート状の土壌微生物のコロニーのこと) を形成し、浸食を防止して早く植生遷移をスタートさせる工法。崩壊斜面・造成法面の浸食防止・自然植生の形成を目的に、造成法面、崩壊・工事による荒地にも適用できる環境に配慮した画期的な工法です。従来の自然侵入促進工より安価で環境保全規制区域への適用可能性、法面整形なしでの施行が可能これまでになかった新技術です。今後、様々なシーンでの活用が期待されています。

土壌藻類等は、BSC を形成する上で最初に侵入するパイオニアで、これを活用することにより、自然な植生遷移が可能となります。



日本工営株式会社・株式会社日健総本社および東京農業大学
BSC工法研究現場説明会のご案内

1. 日時・場所

日時：令和 5 年 2 月 3 日(金) 15 時 00 分～16 時 20 分

場所：東京農業大学 厚木キャンパス (〒243-0034 神奈川県厚木市船子1737)

※当日はお越しになりましたら、本部棟2階 大会議室へお集まりください。

2. 開催内容 (予定)

場所：試験法面前

1. フォトセッション

場所：キャンパス内 会議室

2. 開会・出席者紹介

【日本工営株式会社】代表取締役社長 新屋 浩明

【株式会社日健総本社】代表取締役社長 森 伸夫

【東京農業大学】学長 江口 文陽

3. BSC工法の最新情報報告

土壌藻類を活用した新技術「BSC工法」のご紹介 (約15分)

日本工営株式会社 沖縄支店技術部長 冨坂 峰人

東京農大、日健総本社、日本工営が連携して研究開発に取り組んでいる、土壌藻類が形成するバイオリジカル・ソイル・クラスト(BSC)が有する侵食防止機能及び植物の種や孢子等をキャッチする機能を活用した新技術「BSC工法」について、その概要やこれまでの経緯等をご紹介します。

4. 本学の取り組みと現段階の成果報告

全国に広がる東京農大のフィールドを活用したBSC工法の現地適用実験 (約15分)

東京農業大学 森林総合科学科 教授 矢部 和弘

北海道から沖縄まで広がる東京農大の実験フィールドを活用して、BSC工法に関する様々な実験を行っています。厚木キャンパスでは冬季吹付の実験、奥多摩演習林では日照の少ない林内での実験、オホーツクキャンパスに隣接する北海道北見市では寒冷地への適用実験を開始しました。今回はそれぞれの実験での今日までの成果を発表します。

5. 質疑応答

6. 閉会

3. その他

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
 - ・当日の発熱等の体調に異常がある方は参加をご遠慮ください。
 - ・マスクの着用、会場入り口にて手指消毒、検温にご協力をお願いします。
 - ・会場内での会話(私語)は極力控えるようご協力をお願いします。
- フォトセッションは野外で行います。歩きやすいお履物でお越しください。

以上

東京農業大学 企画広報室 行

※恐れ入りますが、1月31日(火) 17時までにご連絡ください。

1. 取材者

報道機関名	所属	氏名

代表者：

代表者名	ご連絡先

2. カメラ

スチールカメラ	有 (台) ・ 無
テレビカメラ	有 (台) ・ 無

3. その他特記事項

--

4. 交通手段

お車 電車

※お車の場合、こちらにご記入ください。(台数分の車種・色・ナンバーをお願いします)

台数	台
車種	
車の色	
ナンバー	

以上